

箕輪町議会愛知県幸田町行政視察報告書

令和8年1月13日(火)～14日(水)

箕輪町議会副議長 平出 広志

1. 観察の目的

昨年9月友好姉妹都市を結んだ愛知県幸田町について、先進的な取り組みを行っている町の行政視察を実施し、当町の施策展開の参考と両町及び議会議員の交流を目的とする。

2. 観察項目

1. 独自の財源確保、効率的な行政運営について

地域特性を活かした企業誘致、ふるさと納税の活用、公共施設マネジメント等、行財政改革の取り組みについて学ぶ。須美工業団地、菱池遊水地整備事業視察

2. 幸田町の施設・伝統行事について

幸田町の伝統行事である凧上げを守る須美地区「凧の会」との交流
町民会館・図書館等施設見学

3. 観察概要

日程	観察先	観察内容
令和8年1月13日(火)	愛知県幸田町内視察 幸田町議会交流会	幸田町の概要説明、振興計画に関する説明、議会交流会
令和8年1月14日(水)	愛知県幸田町役場・事業視察	現地視察（工業団地施設等）

4. 参加者

箕輪町議会議員 14名（全議員）

5. 観察結果

1. 愛知県幸田町について

愛知県の中央部に位置し、名古屋市から約40km圏にある。コンパクトな市街地と豊かな緑に囲まれた住みよい環境である。自動車関連産業の集積地であり、安定した財政基盤を持つ。積極的に子育て世代の転入促進策を打ち出し、人口が増加しているという特徴を持つ

2. 独自の財源確保、計画的な行政運営

(1) 企業誘致と税収増

- 計画的な工業団地の整備と優遇制度により、優良企業の誘致に成功し、固定資産税や法人住民税の大幅な増収を実現している。
- 町総合計画は理念と将来像が明確に打ち出され、目標達成に向けた事業が着実に実行されている現状には感服した。

6. 観察で得られた提言と今後の活用

幸田町の成功の要因は、安定した財源（企業誘致による税収）を背景に、子育て世代が「住みたい」を明

確に打ち出し、それを継続的に実施している点にあった。

1. 積極的な財源確保の取り組み：企業誘致に加え、ふるさと納税のさらなる戦略的な活用により人口減対策対策等の施策を加速させる必要がある。
2. 総合計画計画に明確なビジョン：ハード・ソフト両面からまちづくり計画に明確にアプローチする重要性を感じた。

